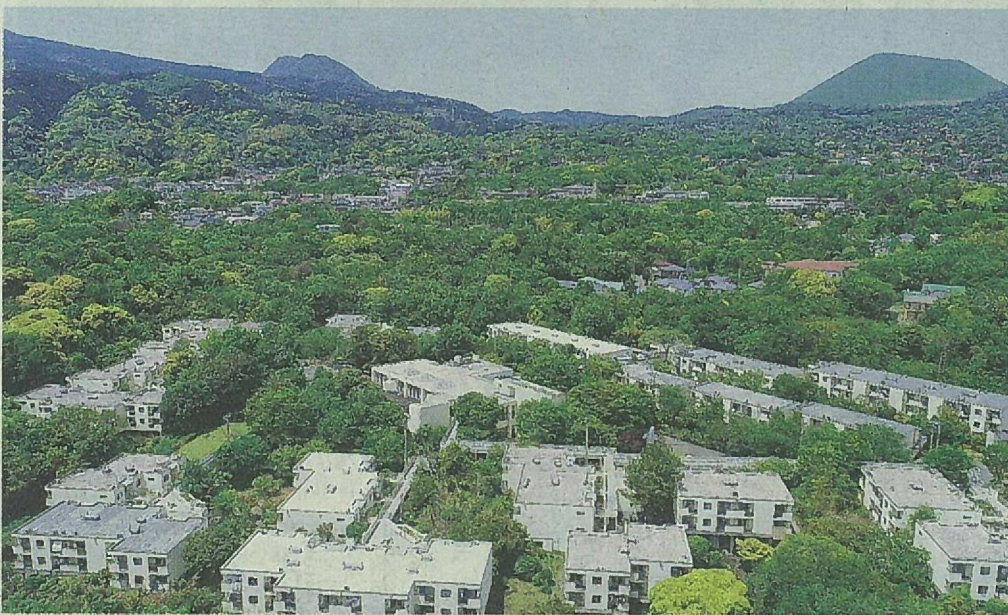


上空から「ブドウの房」のように見える設計の伊豆高原ゆうゆうの里＝伊東市八幡野



自然豊かな国立公園内に立地する施設＝同所



## 伊豆高原ゆうゆうの里

＝伊東・八幡野＝

伊東市八幡野にある介護付き有料老人ホーム・伊豆高原ゆうゆうの里は、

### ブドウの房状に設計

今年5月に開設から42年を迎えた。中心のコミュニティーセンターを取り囲むように、1〜10棟の「一般居室」（住居棟）が放射線状に建ち並ぶ。上空から眺めると「ブドウの房」のように見えるよう、設計した。

敷地面積は8万2千平方メートル。入居者は首都圏からが約7割を占め、65〜105歳の男女約360人が生活する。自然豊かな国立公園の中でゆったりと生活でき、温泉もある。新たにケアセンター（介護居室）ができ、施設内移動があったことで、今年は何年になく一般入居がしやすい状況になっているという。

本紙の記者が、ドローンを使って伊豆各地を撮影しました。「ここを空から見てみたい」「あそこをドローンで撮ったら面白いのでは」などの意見があれば、本社に連絡してください。